

2. 実地研修

- ・ 期間：平成 27 年 9 月～12 月
- ・ 場所：9 か所の研修受入団体（図表 7 参照）

受入団体の研修計画書に基づき、アウトリーチについての実践的な知識や技法、当事者への対応方法、アウトリーチへの同行、関係機関との連携、アウトリーチを効果的且つ円滑に行うための組織体制や事業運営の方法等について、OJT 形式による実務を通じた研修を行った。

研修内容の詳細は、受入団体ごとによって異なるため、図表 8 に記載する。

図表 7（研修受入団体／実施研修先）

| 研修受入団体名（地域） |
|--|
| 山武郡市広域行政組合教育委員会山武郡市教育相談センター〈適応指導教室〉 （千葉県山武郡山武市） |
| 浜松市精神保健福祉センター〈浜松市ひきこもり地域支援センター〉 （静岡県浜松市） |
| 特定非営利活動法人わたげの会（宮城県仙台市） |
| 特定非営利活動法人教育研究所（富山県黒部市） |
| 特定非営利活動法人北陸青少年自立援助センター（富山県富山市） |
| 特定非営利活動法人ピアサポートネットしぶや（東京都渋谷区） |
| 特定非営利活動法人青少年自立援助センター（東京都福生市） |
| 特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス（佐賀県佐賀市） |
| 特定非営利活動法人奄美青少年支援センターゆずり葉の郷（鹿児島県奄美市） |

※各研修受入団体の研修概要については、次頁から順に記述する（図表 8）

図表 8 (実地研修／各研修受入団体の研修概要)

| | |
|-----------|---|
| 機関・団体名 | 山武郡市広域行政組合教育委員会 山武郡市教育相談センター（適応指導教室） |
| 所在地 | 〒283-8505 千葉県東金市東岩崎1-17 |
| アウトリーチの特徴 | 公的機関であるため、学校との連携を密にしつつ、訪問支援を行っている。 |
| 相談・支援機関名 | 山武郡市教育相談センター |
| | 適応指導教室ハートフルさんぶ東金教室 |
| | 適応指導教室ハートフルさんぶ大網白里教室 |
| | 適応指導教室ハートフルさんぶ山武教室 |
| | 適応指導教室ハートフルさんぶ横芝光教室 |
| 研修全体の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・山武郡市教育相談センターの活動概要について ・訪問カウンセリングについて（心構えと実践事例等について） ・訪問カウンセリングの計画について ・相談センターカウンセラーの活動概要について ・訪問相談担当教員の活動概要について ・訪問カウンセリングの実地研修 ・適応指導教室における通級児童生徒への教育支援（4教室） |
| 研修内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・受入団体の業務内容説明 ・訪問カウンセリングについて（心構えと実践事例等について） ・訪問カウンセリングの計画について |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・相談センターカウンセラーの活動概要について ・適応指導教室における通級児童生徒への教育支援 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・訪問相談担当教員の活動概要について ・適応指導教室における通級児童生徒への教育支援 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・訪問カウンセリングの実地研修 ・適応指導教室における通級児童生徒への教育支援 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室における通級児童生徒への教育支援 ・実地研修の振り返り ・研修のまとめ |

| | |
|-----------|---|
| 機関・団体名 | 浜松市精神保健福祉センター (浜松市ひきこもり地域支援センター) |
| 所在地 | 〒430-0929 静岡県浜松市中区中央一丁目 12-1 |
| アウトリーチの特徴 | 本市におけるひきこもり相談においては、一次相談を行政機関、訪問支援をNPOが行いケースの共有を図る官民協働での事業となっている。訪問支援を行うのは医療機関や福祉施設、教育委員会等での就業経験のある精神保健福祉士が中心。 |
| 相談・支援機関名 | 浜松市ひきこもり地域支援センター (浜松市と NPO 法人で協働) |
| | 地域若者サポートステーションはままつ (NPO 法人遠州精神保健福祉をすすめる市民の会が受託) |
| 研修全体の概要 | 訪問支援への同行やフリースペースや地域若者サポートステーション等において、当事者のアプローチ方法や団体における連携、リファー等の取り組みを中心に研修を実施する。 |
| 研修内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・受入団体の業務内容説明等 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉センターでのミーティング参加 ・ひきこもりケースの事例検討会に参加 ・ひきこもりコミュニティースペースでの利用者対応 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・同行訪問 ・訪問後、ケースについての振り返り ・ひきこもり当事者グループでの利用者対応 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・同行訪問 ・訪問後、ケースについての振り返り ・地域若者サポートステーション事業について研修 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・実地研修の振り返り ・まとめ ・意見交換 |

| | |
|-----------|---|
| 機関・団体名 | 特定非営利活動法人 わたげの会 |
| 所在地 | 〒982-0001 宮城県仙台市太白区八本松2丁目9-25 |
| アウトリーチの特徴 | わたげの会は平成9年の設立当初から訪問支援を行い、同会のフリースペースと協働しながら、ひきこもり当事者の自立に向けた支援を展開している。当法人は当事者支援と同様、家族支援についても重点的に取り組んでいる。訪問支援においても、事前の家族面接や父親・母親教室において家族支援を十分に行い、支援者と家族が協力しながら当事者と関わっていく環境づくりに努めている。 |
| 相談・支援機関名 | 厚生労働省認定事業「せんだい若者サポートステーション」 障害者小規模地域活動センター「第二わたげ」 共同生活援助「わたげ寮」 ひきこもり自立支援寮「メゾンわたげ」 |
| 研修全体の概要 | 訪問支援の同行や当法人が運営する通所型施設において当事者へのアプローチ方法や家族支援等への取り組みを中心に研修を実施する。 |
| 研修内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・当法人の業務内容説明 ・各事業運営についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援現場での同席 ・家族教室の見学 ・訪問支援についての事前学習 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援（これまでの支援経過について同行スタッフより説明） ・訪問後、訪問（支援）記録の作成補助と振り返り ・フリースペースでの利用者対応 <ul style="list-style-type: none"> ・フリースペースでの利用者対応 ・スポーツ行事への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・実地研修の振り返り ・訪問支援についてのまとめ ・連携、ネットワークについての説明 |

| | |
|-----------|--|
| 機関・団体名 | 特定非営利活動法人 教育研究所 |
| 所在地 | 〒233-0013 神奈川県横浜市港南区丸山台 2-26-20 |
| 研修実施場所 | 〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉 5509-16 |
| アウトリーチの特徴 | 教育研究所では過去 40 年にわたり、不登校・ひきこもりなどの若者の支援活動を行い、その累積したノウハウを基に、ひきこもり・ニートなどの訪問支援にも活用しています。 |
| 相談・支援機関名 | 厚生労働省認定事業「にいかわ若者サポートステーション」 |
| | 宇奈月自立塾(合宿施設) |
| 研修全体の概要 | 宇奈月自立塾で、現在困難を抱えた若者達と生活し触れ合い、様々な視点から訪問支援員としての心構えはもちろんスキルを身につけていく。また、前半部は理論や考え方、等のポイントを押さえ、後半部は実際に訪問支援を行い、フィードバックしていく。 |
| 研修内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・ひきこもりやニートの心理、対応などの理論などの講座を受講 |
| | ひきこもり・ニートの心理、対応等の具体的な理論講座を受講 寮生との運動・ディスカッションを通じてのひきこもり・ニート等の理解、寮生の日常的な生活補助 |
| | 訪問支援者の心理背景・生育過程などの総合的な事前研修を行い、様々な支援ポイントを押さえ、禁忌事項なども伝える |
| | スタッフと共に訪問支援を行う。午前、午後で 2, 3 件。 |
| | 昨日の事後研修を行い、現場で出た問題点を検討し、解決策を考える。また、5 日間の総括を行う。 |

| | |
|-----------|---|
| 機関・団体名 | 特定非営利活動法人 北陸青少年自立援助センター |
| 所在地 | 〒939-2204 富山県富山市万願寺144番地 |
| 研修実施場所 | 〒939-0871 富山県高岡市駅南1-1-18 |
| アウトリーチの特徴 | 当法人が実施する高岡地域若者サポートステーションに誘導し、学習支援・職場体験やボランティア体験・職場見学・生活訓練等につなげ、社会的に活躍できる場を広げていく。 |
| 相談・支援機関名 | 高岡地域若者サポートステーション |
| | Peaceful House はぐれ雲 |
| 研修全体の概要 | 若者の自立や社会参加を目的とした、共同生活寮「はぐれ雲」にて、入寮する寮生と、プログラム・当番や作業をとおして交流を図る。また、サポステに同行してもらい、アウトリーチの同行を行う。 |
| 研修内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・活動概要、説明 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・フリースペース等の利用者への対応（農作業、スポーツ、食事準備等） ・利用者のケース検討等 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・フリースペース等の利用者への対応（農作業、スポーツ、食事準備等） ・アウトリーチに関するケース検討 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ同行 ・同行スタッフより、訪問先(被支援者)の支援経過についてレクチャー ・訪問後、支援記録の作成補助と振り返り |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り、まとめ |

| | |
|-----------|--|
| 機関・団体名 | 特定非営利活動法人 ピアサポートネットしぶや |
| 所在地 | 〒105-0013 東京都渋谷区恵比寿4-7-6 KTビル201 |
| アウトリーチの特徴 | <p>若者を中心としたピアサポーター（若者支援員）と主任支援員がボランティアとして訪問し、自宅以外で過ごすことや外出の付き添い、居場所への誘導を行い、居場所での仲間づくりや再チャレンジを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者へのアウトリーチと連動して、主任支援員は家族へのアウトリーチを行い、アウトリーチの状況を、①事務所で家族支援、②訪問しているが、家族とのかかわりのみ、③家族にも、本人にも会えている、④本人との外出、付き添いができている、の4段階に分け、支援を行っている。 ・ピアサポーターを支える主任支援員、相談員と専門職、アウトリーチを支える地域ネットワークを持つ。 |
| 研修全体の概要 | <p>ともに学ぶことを大切に、当法人の行っているアウトリーチを含む全事業についての情報提供、実践、参加や見学を通して、それぞれが所属する団体との活動の比較や自らが求めていること、団体から求められていることなどを、対話しながら、気づきがうまれる研修にする。</p> |
| 研修内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・受入団体の業務内容説明 ・各実施事業についての説明 ・情報交換、振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポート活動について ・支援している子ども、若者の状況 ・NPOと地域連携、ネットワーク形成について ・情報交換、振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・家族支援について ・住居への同行訪問 ・ファンイン（地域）活動への参加・見学 ・情報交換、振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・当事者対応 ・ケース検討への参加 ・地域活動への参加・見学 ・情報交換、振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・実地研修の振り返り ・情報交換 |

| | |
|-----------|--|
| 機関・団体名 | 特定非営利活動法人 青少年自立援助センター |
| 所在地 | 〒197-0011 東京都福生市福生 2351-1 |
| アウトリーチの特徴 | 当法人では開設以来アウトリーチ事業を基軸とした青少年自立支援活動を全国的に展開してきた。近年、景気の低迷等の影響もあるのか、地域に関係なくニート層が多く目につくようになってきた。しかしながら、実際にアウトリーチをできる機関は少なく、そのスキルも一定ではないのが現状である。そのような、状況に対して一定スキルを持った人材の育成が急務と考えられる。当法人では、年間 300 件超の訪問支援を実施していて、その臨床例も多く蓄積されている。20、21、22 年度においては、東京都委託事業のひきこもり支援「コンパス」で支援員向けの講座をおこなった。23 年度からは「東京都若者仲間参加応援事業」でも民間団体・公的機関職員向けの講座を実施している。より実践に近い形で、座学よりはロールプレイの時間を多くとり、また訪問支援の同行も行った。それにより、各々の現場において有効なアウトリーチの実践をおこなえるようになったとのご報告をいただいている。そのような部分のノウハウも研修事業の中で生かして行き、研修後直ぐに役立つ内容としたい。そのような人材が多く輩出されれば、各地域において、早期対応ができるようになり、ひきこもり状況が厳しくなる前に対処できると共に、予防的な側面も期待できる。本事業において多くの人材が広域に展開されればと考えている。 |
| 相談・支援機関名 | あだち若者サポートステーション いたばし若者サポートステーション 多摩若者サポートステーション 黒潮若者サポートステーション フリースペースわかば（セーフティネット足立） |
| 研修全体の概要 | ニート・ひきこもり状況のトータルしたサポートを体験してもらう。入口のインターク面接の重要性からアウトリーチの実際を座学・ロールプレイで体験してもらう。また、生活困窮者等の支援も視野に入れ、当法人で実施している生活保護家庭の支援・アウトリーチも体験してもらう。最終的には、出口の部分を理解する必要があるので、就労支援等の事業にも参加してもらい、支援の全体像を理解してもらえるように講習を実施していく。 |
| 研修内容 | 開講式、オリエンテーション（ガイダンス）、団体概要・事業説明、今後の日程、注意事項説明、施設案内、職員紹介、施設見学 アウトリーチ研修、 座学（半日） ひきこもりの基本的原理 基本事項の確認 ⇒ インターク編、アウトリーチ編 現場実習 職員会議等の参加、就労支援現場での利用者対応、フリースペース対応 あだち若者サポートステーションでの実習、訪問支援の同行（生活保護家庭への支援・同行） 現場実習、講習のまとめ |

| | |
|-----------|--|
| 機関・団体名 | 特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス |
| 所在地 | 〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄7255（武雄市事務所） 〒840-0826 佐賀県佐賀市白山2丁目2-7（佐賀市事務所） |
| 研修実施場所 | 〒840-0826 佐賀市白山2丁目2-7 KITAJIMA ビル1階 |
| アウトリーチの特徴 | <p>「施設型」公的支援の補完的な機能を担うアウトリーチの必要性は従前より指摘されてきた。しかしながらその支援手法としての困難性から多くの行政機関で敬遠されたため、民間組織が先行する形で取組が進められた歴史がある。その結果、公的支援としてのノウハウの蓄積・共有化は遅れ、地域によっては何ら専門的な研修・指導を受けることなく訪問活動が展開されたり、効果性の検証もないまま一部の民間組織に頼った対策を講じる自治体も散見される。</p> <p>当該分野において支援対象となる若者は、自己確立が不十分で心理的にも不安定な特性を持つ思春期あるいは青年期にあり、その状態も経緯によっては自傷他害のリスクを帯びる深刻なケースも想定される。従って、事態の悪化を招くような安易な介入は避けなければならない。訪問に際しては専門性を伴った安全かつ確実なアプローチが求められる。</p> <p>当法人はこういった観点から、教育・医療・福祉等複数分野の知見の集約によって発展的に確立された訪問支援手法と連続支援行動を可能とする重層的支援ネットワークをバックボーンに、旧来の取組とは一線を画した訪問支援事業を展開し、当該分野において全国トップレベルのアウトリーチ実績を収めている。</p> |
| 相談・支援機関名 | さが若者サポートステーション たけお若者サポートステーション 佐賀県子ども・若者総合相談センター 佐賀市生活自立支援センター |
| 研修全体の概要 | <p>訪問支援への導入から機関誘導、機関誘導後の支援までの一貫した支援の流れについて研修を実施する。研修内容としては、事前面談から初回訪問に向けた枠組み設定、支援計画の策定、訪問現場での面談、アセスメント、保護者対応、次回訪問設定等、アウトリーチ全般にわたる実地訓練。</p> |
| 研修内容 | <p>オリエンテーション 受入団体の業務内容説明 関与継続型及び機関誘導型のアウトリーチに焦点を当てた集中講義</p> <p>訪問（被支援者）（被支援者の概要と注意点、振り返りなど） 事前面談から初回訪問に向けた枠組み設定支援計画の策定について</p> <p>訪問（被支援者）（被支援者の概要と注意点、振り返りなど） 訪問現場での面談（被支援者との関係性、地の利など）についてアセスメントについて</p> <p>訪問（被支援者）（被支援者の概要と注意点、振り返りなど）保護者対応（チーム対応、他分野に渡る専門性）について次回訪問設定（シーディングの意図など）について</p> <p>訪問（被支援者）（被支援者の概要と注意点、振り返りなど）戦略的人材育成（当団体の養成カリキュラム）について危機管理（個人情報の管理など）について実地研修の振り返り</p> |

| | |
|-----------|---|
| 機関・団体名 | 特定非営利活動法人 奄美青少年支援センター「ゆずり葉の郷」 |
| 所在地 | 〒894-0036 鹿児島県奄美市名瀬長浜町 23 番 25 号 |
| アウトリーチの特徴 | 当団体は、前身である合気拳法武道を含めて 31 年以上にわたり、青少年問題・家庭問題の受け皿として活動してきた。民間団体としての機動性や広範なネットワークを生かしてアウトリーチを行い、ひきこもり・暴力・非行・薬物・自殺等、深刻化・複雑化する青少年問題・家庭問題を抱える青少年に対して、当団体への誘導をおこなっている。 |
| 相談・支援機関名 | 厚生労働省認定事業 奄美若者サポートステーション |
| | 鹿児島県委託事業 自立援助ホーム さざ波の家・奄美 |
| | 鹿児島県警委託 子ども見守りカメラ（ボランティア） |
| 研修全体の概要 | 訪問支援への同行や通所・宿泊型施設（サポートステーション・自立援助ホーム）等の施設にて当団体のアプローチ方法や各機関のネットワークの連携・リファー等の取り組みを中心に研修を実施する。 |
| 研修内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション（ミーティング参加） ・受入団体の各事業説明 ・当団体所長より事例説明 等 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・訪問①（スタッフより支援経過について説明） ・訪問後、訪問支援記録作成と、振り返り ・その後のフォローアップについてスタッフより説明 ・「ゆずり葉の郷」来所者、入所者対応（相談支援・学習指導等） |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・訪問②（スタッフより支援経過について説明） ・訪問後、訪問支援記録作成と、振り返り ・その後のフォローアップについてスタッフより説明 ・「ゆずり葉の郷」来所者、入所者対応（相談支援・学習指導等） |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動への参加 ・「ゆずり葉の郷」来所者、入所者対応（相談支援・学習指導等） |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・実施研修の振り返り ・ミーティングへの参加 |